



# 地域包括 かこがわ べんい

## オレンジサロン（認知症予防教室）のご案内

1月20日、地域包括支援センターかこがわの相談室で、加古川町内65才以上の介護認定を受けていない方を対象に、オレンジサロン（認知症予防教室）をプレ開催いたしました。今回はレクリエーションインストラクターである中島先生をお招きし、手指や文字を使った脳トレを行いました。全員参加型の教室でしたので皆さま終始笑いの絶えない時間をお過ごし頂き、「これからも続けて欲しい」と嬉しいお声を頂戴しました。



年齢を重ねても脳を鍛えることで物忘れを防ぎ、自立した生活ができると言われていています。今後もセンターでは様々な角度からご提案させて頂きたいと思っておりますので是非ご参加下さい！

**今年4月から、毎月第3水曜日の13:30~15:00**  
地域包括かこがわの相談室で、各専門の講師をお招きし、定期開催予定です。  
参加ご希望の方は、案内を送付いたしますので、下記までご連絡下さい。  
TEL079-429-6510（担当 豊田）



## 加古川民生児童委員協議会研修会

1月26日、加古川公民館会議室に於いて約35名の民生委員さま対象に、「仮想プランをたて実践につなげる」とのタイトルで介護保険制度の講話のほか、模擬事例を基にグループワークのお手伝いをさせて頂きました。



「地域の方から介護保険について直接回答を求められる事が多い」との課題を事前に頂戴しておりましたので、たくさんの質問や活発なご意見も飛び

び交い、民生委員さまならではの視点に私どもも学びの機会となりました。

あらためてお互い協働していく事の必要性を確認させて頂き、今後ますます顔の見える関係づくりに努めて参りたいと思っております。



## 介護者のつどい 加古川総合保健センター見学ツアー

2月12日、介護者のつどいは、「大人の社会見学 in 加古川総合保健センター」に参加しました。加古川総合保健センター（ウェルネージ加古川）は、加古川駅北に移転して約1年が経ち、地域の方の健康を支えています。



見学会では、コンビニ感覚で気軽に血液検査等が受けられる「駅チカLABO」の体験や、普段は立ち入る事のできない検査室や情報管理室などにも入らせて頂いたり、参加者からは驚きの声があがっていました。

介護を受けておられる方はもちろん、介護している方も健康管理はとても大切なことです。

今回の見学会に参加したことで、ご自身の健康について気遣ったり、見直したりするきっかけになったのではないのでしょうか。



# 認知症サポーター養成講座活動報告 新たな仲間のご紹介♪

○1月21日 兵庫県立加古川南高校

昨年引き続き、総合学習で福祉の勉強をされている学生さん5名に受講して頂きました。キャラバンメイト活動が、将来を担う若い学生さんのお役にたつ事ができるのであれば嬉しい限りです。ありがとうございました♪♪



○1月28日 小規模多機能型居宅介護じけまち

昨年新たに開設された地域密着型サービスである「小規模多機能じけまち」の介護スタッフ10名の方にも、新たなサポーターになって頂きました。プロの専門職としては勿論のこと、一地域住民として何が出来るのかを話し合っていました。



○2月16日 氷丘民生児童委員協議会



氷丘公民館大ホールに於いて、約100名の民生委員、協力員さま対象に認知症サポーター養成講座を開催いたしました。1回の開催で、多くのサポーターが誕生し仲間の輪が更に広がったことは、大変喜ばしいことです。

受講後参加者の方から、『明日は我が身』『自身も当事者』との言葉から「他人ごとと思わずに、暮らしやすいまちを民生委員・協力員の立場で作っていきたい」と大変力強いご意見を頂戴いたしました。



## 加古川市多職種合同研修会



2月20日、総合福祉会館で加古川市の多職種の事業所を対象に「ユマニチュード」について、神戸市の林山朝日診療所 理事長 梁（リャン）勝則先生に講演して頂きました。約130名の方が、新しい認知症ケアとして『みる、話しかける、触れる、立つ』という4つの方法を柱とする認知症ケアの手法を学びました。

昨今、高齢者虐待に関するニュースを目にしますが、今回の研修で学んだ事を一人でも多くの方に情報提供し、認知症になっても住み慣れた町で暮らす事のできるお手伝いをしたいと思います。

## 加古川町内多職種連携研修会



3月17日、加古川市総合福祉会館にて、加古川町管内の多職種52名が一堂に集まり、しょうせ脳神経外科クリニック 院長 庄瀬祥晃先生を講師にお迎えし、脳卒中についての講義を軸にした研修会が行われました。研修に参加することにより、日ごろはなかなか行えない連携するうえで役立つ顔の見える関係づくりを、促進する機会になったのではないかと嬉しく思いました。

地域包括ケアシステムの実現に向け、なお一層の医療・介護連携強化が望まれるところであり、このような機会を大切にしていきたいと思っております。

